

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【公表番号】特表 2016-503790 (P2016-503790A)

【公表日】平成 28 年 2 月 8 日 (2016.2.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-009

【出願番号】特願 2015-549325 (P2015-549325)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/27 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/27

A 6 1 Q 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

口腔的に許容可能な水性ビヒクルおよび抗菌性構成成分を含有し、抗菌性構成成分は少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛を含有するオーラル・ケア組成物。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は、アスコルビルホスファート亜鉛 (I I) を含有する請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は、アスコルビルホスファートクロリド亜鉛 (I I) を含有する請求項 1 または 2 の組成物。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は、アスコルビルホスファートヒドロキシ亜鉛 (I I) を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つの組成物。

【請求項 5】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は、アスコルビルホスファート亜鉛 (I I)、アスコルビルホスファートクロリド亜鉛 (I I) およびアスコルビルホスファートヒドロキシ亜鉛 (I I) の混合物を含有する請求項 1 の組成物。

【請求項 6】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は組成物中に少なくとも 3 . 0 m M の濃度である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

少なくとも 1 つのリン酸アスコルビル亜鉛は組成物中に少なくとも 6 . 0 m M の濃度である請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

組成物の pH は 6 ~ 8 の範囲である請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

さらに、界面活性剤、脱感作剤、ホワイティング剤、歯石除去剤、研磨剤、バインダー、増粘剤、洗浄剤、粘着剤、発泡調節剤、pH 調節剤、口当たり剤、甘味剤、香味剤、着

色剤、防腐剤、湿潤剤、フッ化物イオン源およびその組み合わせからなる群から選択される少なくとも１つの成分を含有する請求項 １～８ のいずれかに記載の組成物。

【請求項 １０】

歯磨き剤の形態の請求項 １～９ のいずれかに記載の組成物。

【請求項 １１】

マウスリンスの形態の請求項 １～９ のいずれかに記載の組成物。

【請求項 １２】

人または動物対象の口腔の病気または疾患を治療または防止する方法において使用するためのものであって、方法は組成物を対象の口腔に塗布することを包含する請求項 １～１１ のいずれかに記載の組成物。

【請求項 １３】

リン酸アスコルビル亜鉛の、オーラル・ケア組成物における抗菌性構成成分としての使用。

【請求項 １４】

請求項 １～１２ のいずれかに記載の組成物を含有するオーラル・ケアキット。

【請求項 １５】

酸化亜鉛の懸濁液を調製し、

リン酸アスコルビルの溶液を調製し、

酸化亜鉛の懸濁液とリン酸アスコルビルの溶液を混合し、かつ

酸化亜鉛とリン酸アスコルビルを反応させて錯体を形成するようにする

工程を包含するオーラル・ケア組成物製造方法。